



愛知工業大学 愛知工業大学情報電子専門学校 愛知工業大学名電高校 愛知工業大学附属中学校

目次:

新しく任命5氏	2
大学院活性化を	3
山田氏ら学長賞	3
設置校で入学式	4
防犯カメラ寄付	5
設置校で卒業式	6
山崎武司氏講演	7
新ピンポン外交	8

発行所

名古屋電気学園

〒470-0392

豊田市八草町八千草1247

☎(0565)48-8177

# 体制新たに26年度スタート

名古屋電気学園は四月一日、組織変更、人事異動を行い新体制がスタートしました。主要人事では学園に経営統括本部を新設、本部長に常務理事の三輪博美氏、学園事務局長兼総務部長に川出善晴氏、大学副学長に山田英介応用化学科教授が就き、財務部長を後藤尚之学園事務局次長が兼務します。この日は辞令交付式、年度始め式が行われ後藤淳理理事長、後藤泰之学長が平成二十六年度のスタートにあたり挨拶しました。

学園の辞令交付式は八草キャンパス本部棟で新規採用者、任命・昇格者の順に行われました。新規採用は大学教員十一人、高校中学教員六人、事務職員一人の

## 辞令交付式・年度始め式



新しい体制で行われた年度始め式

# 経営統括本部長三輪氏 学園事務局長に川出氏 大学副学長に山田英教授

用者、任命・昇格者の順に行われました。新規採用は大学教員十一人、高校中学教員六人、事務職員一人の計十八人。任命は大学教員三人(再任一人含む)、事務職員三人の計六人。昇格は大学教員七人、事務職員(管理職)四人の計十一人で後藤理事長から一人ひとりに辞令が交付されました。後藤学長ら学園幹部六人も立ち会いました。

## 「次の百年へ力発揮を」

後藤理事長は新規採用者に対する挨拶で「新しくお見えたいただいた方々は、こ



教職員を激励する 後藤淳理理事長

れから名古屋電気学園の教職員としてそれぞれの所で勤務されます。学園は一年、創立百周年を迎えました。次の百年へ向け皆様方には若い力を存分に発揮していただきたいと思ひます」と期待の言葉を贈りました。また任命・昇格者にも「学園も次の百年へ向かってよいスタートが切れました。事務局の編成や大学も副学長が変わりましたが、学園が今後も成長していくよう皆さんが中心になつてお骨折りがたきますようお願いいたします」と述べました。

## 愛名会新会長に佐々木氏



学園の後援組織・名古屋電気学園愛名会の新しい会長にトヨタ自動車相談役・技監の佐々木眞一氏(67) Ⅱ写真上、副会長に清水建設常務執行役員・名古屋支店長の井上和幸氏(57) Ⅱ

写真下Ⅱが決まり、五月三十日に名古屋市内で開かれた平成二十六年総会で報告されました。任期は二年Ⅱ総会記事7面。

佐々木氏はトヨタ自動車工業に入社後、専務、品質保証本部など各本部長、副社長などを歴任しました。現在、中部経済連合会副会長、国土審議会委員なども務めています。井上氏は今年四月から名古屋支店長。

## 附属中卓球部が3連続全国制覇

Ⅱ記事7面



島根県出雲市で開かれた第15回全国中学選抜卓球大会で優勝した附属中卓球部。写真は月刊「卓球王国」提供



山田英介  
大学副学長



井研治大学副学長・  
学生支援本部長



三輪博美常務理事・  
経営統括本部長



川出善晴事務局長・  
総務部長



後藤尚之事務局次長・  
財務部長

学園辞令交付式  
新しく任命5氏



後藤淳理事長を囲み記念撮影する  
新規採用の大学教員の皆さん

- 工学部電気学科教授 青木 道宏
- 工学部応用化学学科教授(応用化学科客員教授) 森田 靖
- 工学部機械学科教授 今野 彰
- 工学部建築学科教授 河路 友也
- 経営学部経営学科教授 加藤 里美
- 情報科学部情報科学科准教授 内藤 克浩
- 基礎教育センター准教授 加藤 久佳
- 工学部電気学科講師 元谷 卓
- 工学部応用化学科講師 村上 博哉
- 基礎教育センター講師

新規採用の大学教員

- 工学部機械学科助教(工学部機械学科任期付助手) 東平 彩亜
- 武田 亘平

新規採用の中高教員

- 教諭 中間 弘
- 教諭 野村 嘉寛
- 教諭 福田 稔
- 教諭 森 大輔
- 教諭 富田 弘樹
- 教諭・中学教諭 伊藤 綾香



新規採用の中高教員の皆さん

昇格した大学教員

- 工学部機械学科教授(准教授) 北川 一敬
- 情報科学部情報科学科教授(准教授) 水野 慎士
- 基礎教育センター教授(准教授) 森 ゆかり
- 基礎教育センター教授(准教授) 伊藤 健
- 工学部機械学科准教授(講師) 松井 良介



昇格した大学教員の皆さん

- 工学部建築学科准教授(講師) 佐野 泰之
- 基礎教育センター准教授(講師) 川口 洋誉



後藤淳理事長を囲み記念撮影する定年退職者の皆さん

定年退職者18人ねぎらう  
学園の平成二十五年度定  
年退職者辞令交付式が三月  
二十八日、若水キャンパス  
で開かれ、大学教員十一人、  
高校教員三人、事務職員四  
人の計十八人が定年退職し  
ました。

退職者一人ひとりに後藤  
淳理事長から辞令が交付さ  
れ、後藤泰之学長からは記  
念品が贈呈された後、後藤  
理事長が挨拶し「皆さんは  
大学も高校も成長した時  
期に勤めていただきまし  
た。一昨年、学園が創立百  
周年を迎えることができた  
のも皆さんの苦勞のおかげ  
です。まだまだお元氣のよ

うなので時には思い出の場  
に顔を見せてください。長  
い間ありがとうございました。  
と述べました。

これに対し退職者を代表  
して鈴木達夫教授・副学長  
が謝辞を述べました。

- 定年退職者は次の皆さん  
(大学) 落合鎮康 高村  
秀一 酒井忠雄 中島剛  
水野光国 鈴木達夫 池田  
良夫 寺本和幸 甲村和三  
大矢公彦 安田伍朗(大  
学事務局) 阿部節子 佐藤  
友泰(高校) 竹内博美 水  
野慎一郎 後藤敏春 小島  
登志子(専門学校) 池山久  
美子

# 「大学院の活性化を」

大学の平成二十六年年度始め式は四月一日、八草キャンパス10号館大講義室で学園・大学の教職員が出席して行われ、後藤淳理事長は「桜の花も咲き誇り新しい年度に入る日にふさわしい天気となりました。二年前に百周年を終え、これからが大事な時。日本が再び元気を取り戻し世界に負けない仕事をしていくために教育と研究、若い人を育てると同時にものづくりも大切。今日はたくさんの方を新たに迎え、昇任・昇格者もたくさん出ていま



年度始め式で挨拶する後藤泰之学長

す。力を合わせ大学が中心になって名古屋電気学園が他に負けないように頑張ってください。皆様方のご活躍を祈念したいと思います。」と挨拶しました。

続いて後藤泰之学長が挨拶、「私学を取り巻く状況は十八歳人口の減少が一番の問題。今は比較的安定しているが、六年後からは急

## 年度始め式で後藤学長強調

激に減ってきます。対応としては、まずは教育の質を向上させることが大事ではないか。そのために先生方にもいろいろな取り組み、例えばFD活動に積極的に参加していただいで優秀な学生を育て送り出してほしい。また本学はものづくりを通しての人づくりが教育モットーですが、これまで培ってきた伝統と姿勢を強化していきたい。昨年は映画づくりに取り組んだが参加した学生には大きな財産

## 「防災関連の専攻を準備」

になったと思います。学生に生きたものづくりに参加してもらうことが大事。ぜひ躊躇している学生がいたら背中を押してやってほしい。さらに、今年度取り組みたいのは大学院の活性化、進学者を増やしたい。就職だけでなく進路ガイダンスとして一年生の時から意識付けをしてほしい。大学院が活性化すれば先生方の研究も活性化していくと思います。もう一つ、都市環境学科に防災関連の専攻を作りたいと準備しています」と新年度の方針を示していました。

## 平成25年度「学長賞」に3氏



後藤学長と記念撮影する戸伏壽昭教授（左端）、山田英介教授（右から2人目）、中嶋研索係長（右端）

大学の平成二十五年度「学長賞」は応用化学科の山田英介教授、機械学科の戸伏壽昭教授、学務部経営学科事務室の中嶋研索係長の三人に、年度始め式の席上、後藤泰之学長から贈られました。本学の教育・研究及び管理運営等の発展に多大な貢献をした団体または個人に授与されます。

山田教授の功績はものづくり教育の振興にあたり、昨年度制作した映画「A・F・O」のプロジェクトリーダーとして制作意図を学生に発信、チャレンジ精神を喚起したほか学内の取りまとめや調整に尽力、円滑な撮影に寄与しました。

戸伏教授は教育・研究の振興の功績で、形状記憶材料の研究に従事する中、ポーランドの研究者との共同研究、ポーランド理論応

用力学会への貢献が認められ、名誉会員の称号を受けました。

中嶋係長は山田教授と同じく映画製作を通じてのものづくり教育の振興。当時、学務部庶務課係長として制作本部のリーダーを務め約1か月にも及ぶ撮影の間、休日も休むことなく連日深夜まで撮影の状況を見守り、学生スタッフの取りまとめなどを行い映画の成功に尽力しました。

松井准教授は「大変光栄です。篠原先生のご厚意に恥じぬよう研究に邁進します」と話していました。

## 篠原先生研究奨励助成金

### 松井准教授に授与



同助成金から授与されました。写真。

学園の平成二十六年年度篠原吉先生研究奨励助成金は工学部機械学科の松井良介准教授に年度始め式の席上、後藤淳理事長から授与されました。

は名古屋大学の第五代総長を務め、本学とも縁が深かった篠原先生の遺志に基づき、本学の若手研究者の研究を支援するもので、授与は数年に一度といえます。

松井准教授の研究テーマは「傾斜機能特性を有するECS系形状記憶材料の開発」で、例えばワイヤのような形状記憶材料の端から端にかけて成分を徐々に変え、元に戻る温度を連続的に変化させることを試みており、医療分野などへの応用が考えられます。

松井准教授は「大変光栄です。篠原先生のご厚意に恥じぬよう研究に邁進します」と話していました。

学園の設置校四校の入学式は、四月二日の愛知工業大学を皮切りに愛工大名電高校と愛工大附属中学校が七日、愛工大情報電子専門学校が八日にそれぞれ行われました。希望を胸に大勢の若者が学園に仲間入りしました。

## 設置校4校で相次ぎ入学式

### 大学へ1550人

大学の入学式は八草キャンパス・鉦徳館で行われ、学部千四百三十六人、大学院百十四人の計千五百五十人が入学しました。

初めに後藤泰之学長が式辞を述べ「新入生の皆さん、入学おめでとうございませす。皆さんの入学を心から歓迎します。本学は一九五九年に中部地方最初の私立工科大学として開



式辞を述べる  
後藤泰之学長

設され、これまで幾多の優れた卒業生を社会に輩出してきました。多くの先輩たちのように皆さんも有意義な学生生活を送っていただきたいと思ひます。社会に役立つ人間となるためには、学識に加えて豊かな人間性を合わせて持つていくことが重要です。それが本学の教育モットーである『創造と人間性』の意味するところす。皆さんは無限の可能性を秘めています。今後の努力に期待します」と祝福の言葉を贈りました。

続いて後藤淳理事長が挨拶に立ち「入学おめでとう。桜の咲くこの新しい年度、清新な新入生の皆さんを迎えることができましたのは学園にとつても大きな喜びです。名古屋電気学園は一昨年創立百周年を迎えまし

た。大学ももうじき六万人近い卒業生が出ます。若き、エネルギーが日本が一番大事な力です。皆さんがこれから力を出して頑張つてくれることを期待しております」と述べました。

これに対し新入生を代表して辻聖太君(情報科学科メディア情報専攻)が「勉学に精進し、豊かな人間性と創造力を身につけ、学生としての本分を全うすることを誓ひます」と宣誓しました。

桜が満開のキャンパスは新しいスーツに身を包んだ新入生のほか大勢の保護者らも訪れ華やいだ雰囲気。AI.Tプラザ周辺では、バンド演奏や先輩たちがチラシを配つてサークルへ勧誘する姿も見られ、にぎわつていました。

入学者の内訳は次の通り。工学部九百九十三人、経営学部百九十六人、情報科学部二百四十七人、大学院工学研究科博士前期課程七十四人、同博士後期課程三人、大学院経営情報科学研究科博士前期課程二十九人、同博士後期課程八人でした。なお編入学者は八人でした。

### 名電高校1クラス増

名電高校の入学式は若水キャンパス喬徳館で行われ、六百五十九人が入学しました。初めに久保芳孝校長が普通科四百二十七人、情報科学科四十三人、科学技術科百八十九人の入学許可を宣言。情報科学科と科学技術科は予想より入学者が多く、両科合わせて昨年より一クラス多い六クラス編成となりました。



式辞を述べる  
久保芳孝校長

続いて久保校長は式辞

で、中国の古典「孟子」から「志を尚くす」の言葉を引用し「一人の人間として大きく成長していただきたい」と期待の言葉を述べ、後藤淳理事長も新入生を激励しました。

新入生を代表して原田敦矢君が「名電高校の生徒として校則を守り勉学にクラブ活動に精一杯努力することを誓ひます」と宣誓、全員で校歌を斉唱しました。式の後、各クラスの担任紹介もありました。

### 附属中には115人

附属中学校の入学式は淳和記念館体育館で行われ、百十五人が入学しました。久保芳孝校長が入学許可を宣言した後、式辞を述べ「早く学校生活における目的を見つけてましよう。六年後、満足感、充足感に満ち溢れていることを願つています」と激励しました。

続いて後藤淳理事長が挨拶、名古屋電気学園の歴史に触れ「これからの時代は諸君の勉強にかかつています。学校生活を楽しみながら基礎学力、体力を身につけることが大事です」と励ましの言葉を贈りました。

新入生代表の佐美涼さんが「私たちがは校訓の『誠実勤勉』の教えに従い、努力し続けることを誓ひます」と宣誓しました。



厳肅な雰囲気の中、入学式



新入生代表の佐美涼さんが「私たちがは校訓の『誠実勤勉』の教えに従い、努力し続けることを誓ひます」と宣誓しました。

### 専門学校に78人入学

情報電子専門学校の入式は同校大教室で行われ、七十八人が入学しました。

稲垣慎二校長が「入学おめでとうございます。皆さんは今日から輝かしい伝統を持つ名古屋電気学園の一員となりました。皆さんの前途は多様な可能性に満ちており、何事にも明るく積



式辞を述べる稲垣慎二校長

極的に取り組んでください」と式辞を述べました。

続いて、後藤淳理事長が挨拶に立ち、名古屋電気学園の沿革や専門学校の歴史に触れ「しっかりと勉強して、

この地域の、日本の産業界で活躍できる人に育ってほしい。また、この学校で生涯の友達も作ってください



新入生を励ます後藤淳理事長

い」と激励しました。太田稔彦豊田市長の「地域が必要とする優れた人材になれることを期待します」との祝辞も披露されました。

これに対し新入生を代表してCAD・CAM学科の原田誉大君が「社会に貢献できる世代になるべく本日から学生生活をスタートする私たちは大きな期待と使命で一杯です」と誓いの言葉を述べました。

名古屋市長東区神里の姉妹学園・あいわ幼稚園で四月五日、四十九回目の入園式が行われ、年少組百人が入園しました。

はじめに後藤泰之園長（愛工大園長）が新入園児たちに「みなさんは今日からあいわ幼稚園のお友達になりました。園庭には楽しい遊具があります。本を読

### 新入園児にお話しする後藤泰之園長



### あいわ幼稚園 100人入園

### 後藤すゞ子先生奨学金、2件交付



た。後藤淳理事長が、すゞ子先生が奨学金を設けた思いを説明し、母親に「大変でした。でもお子さんはい子に育っていますね」と声をかけ、奨学金を手渡ししました。

後藤淳理事長は高校生にも「しっかりと勉強してお父さんの分も頑張ってください」と励ましの言葉をかけた。

### 大学本山キャンパス前 防犯カメラ寄付

### 防犯カメラ寄付

学園は「後藤すゞ子先生奨学金」を二件、交付しました。元学園長の後藤すゞ子先生の遺志に基づき設けられている奨学金は、思いがけない理由で学資の負担が難しくなった設置校の学生、生徒が学業を継続できるように支援するものです。

五月十二日は大学三年生の母親に八草キャンパス本部棟で交付しました。後藤淳理事長が母親に「頑張ってください」と奨学金を手渡し、母親も「大事に使わせていただきます」と答えていました。後藤淳理事長は学生にも「男一人だからお母さんを大事にして頑張ってください」と励ましていました。後藤泰之学長ら大学、学園幹部も同席しました。



の敷地内の支柱に据え付けられ、写真、高さ約五メートルの位置から四方方向に向けられています。ハイビジョン方式で、真つ暗闇の中での撮影も可能とのことです。

三月二十八日は名電高校生の母親に若水キャンパス南校舎で交付されました。歌を歌ったり、遊戯をしたり楽しいことが待っています。優しい先生もいます。毎日元氣よく通ってください」と話しかけ、保護者には「愛、和、自由」の教育方針を紹介しました。

この後、講師や担任の先生が紹介され、後藤園長と記念写真を撮りました。

### 各設置校で卒業式

学園設置校の平成二十五年度卒業式は三月一日の愛工大名電高校を皮切りに愛工大附属中学校が十三日、愛工大情報電子専門学校が十八日と続き、二十三日の愛知工業大学で終えました。卒業生は懐かしい校舎を後に、新しい人生を歩み始めました。

### 大学 1375人に学位記授与

大学の卒業証書・学位記授与式は八草キャンパス・鉦徳館で開かれ、総数千三百七十五人に後藤泰之学長から学位記の授与がありました。

博士の学位記は三人。修士の学位記は計八十二人。さらに卒業証書・学位記は工学部八百三十七人、経営学部二百二十三人、情報科学部二百三十人の各代表に手渡されました。

後藤学長は式辞で「本校の教育モットーである『創造と人間性』の言葉を胸に皆さんが社会の発展に積極



後藤泰之学長から卒業証書・学位記を受ける工学部837人の総代表

的に寄与されることを期待しています」と述べました。

続いて挨拶に立った後藤淳理理事長は「大学で蓄えた知識を活かして豊かな社会に貢献してください。皆さんの健康をお祈りします」と励ましの言葉を贈りました。

卒業生を代表して工学部土木工学専攻の長田拓真君が「愛知工業大学卒業生としての自覚と自信を持ち、社会に貢献いたします」と謝辞を述べました。

### 名電高校610人巣立つ

若水キャンパス喬徳館で行われ、科学技術科百四十人、情報科学科四十人、普

### 京大合格など祝う

名電高校の平成二十六年年度大学入試合格者数は、国立では京都大学に初めて一人合格者が出たほか名古屋大学、名古屋工業大学、

通科四百三十人の計六百十人が卒業しました。

各料の代表に久保芳孝校長から卒業証書が手渡された後、久保校長は式辞で「仏教の教えにある『無財の七施』の気持ちを忘れないでほしい。人に思いやり、慈しみ、優しさを与える人生を作り上げてほしい」とはなむけの言葉を述べました。

続いて後藤淳理理事長が「新しい道へ進んでいろんなことにぶつかったときにはこの学校で学んだ力、名電魂で克服してほしい。活躍を期待しています」と励ましを送りました。



懐かしい母校を後にする卒業生たち

卒業生を代表して遠山翔大君が「父や母の愛情。お世話になったすべての方々にありがとうの言葉を贈ります」と答辞を述べました。

### 附属中は118人卒業

淳和記念館体育館で開かれ、百十八人が学び舎を巣立ちました。久保芳孝校長が代表の荒川貴森君に卒業証書を手渡した後、式辞を述べ、英国の小説家サマセット・モームの作品を引用して「世界に一つしかない自分自身のデザインによるペルシャ絨毯を、これからの人生で織り上げてほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

続いて後藤淳理理事長が挨拶し「自分が何を学びたいかよく見極めて、頑張つてほしい」と励ましました。梶野俊樹君が答辞を述べました。

大学4人などでした。学園は三月二十八日、国立大学に現役合格した四人を招き、後藤淳理理事長がお祝いしました。後藤理事長は「しっかりと勉強してほしい」と図書券を贈りました。

三重大学各二人、東京芸術大学一人など計三十一人、私立では愛知工業大学の二百二十九人をはじめ、中央大学四十三人、南山大学三十五人、愛知大学二十九人、慶應大学2人、早稲田

した。

### 専門学校55人が卒業

専門学校の大教室で開かれ五十五人が卒業しました。稲垣慎二校長が代表の天野夢斗君(情報工学科)に卒業証書を授与、「社会の発展に貢献できる人間になれることを心から願っています」と式辞を述べました。続いて後藤淳理理事長も励ましの言葉を贈りました。

高度情報処理科三年制課程の寺園貴君が「本校で学び、身に着けた知識や技術をこれからの人生において発揮していきたいと思えます」と代表して謝辞を述べました。

### あいわ幼稚園で卒園式

名古屋市名東区の姉妹学園・あいわ幼稚園で三月十五日、卒園式が行われました。晴れ着姿の卒園児九十八人は後藤泰之園長(愛工大学長)から修了証書を受け取りました。後藤園長は「卒園おめでとう。小学校へ入ったら勉強や運動などいろんな経験をいっぱいしてください」と挨拶しました。

### 3連続 全制覇 附属中卓球部を学園表彰



クラブ活動後援会の席上行われた附属中卓球部の学園表彰

第十五回全国中学選抜卓球大会の男子団体で二年連続優勝した附属中学卓球部に対する学園表彰が五月十五日、若水キャンパス南校舎で開かれた学園クラブ活動後援会総会の席上行われました。後藤淳理事長から真田浩二監督や部員たちに表彰状、記念プレートなどが贈られました。

真田監督は「大事な場面で選手たちがやるべきことをやり、重要なポイントをもぎ取ったのが勝利に結びついたと思います。選手たちの夢は世界でメダルを取ること。今後も精進を続け



講演する山崎武司氏

はじめに新会長に決まった佐々木眞一氏が挨拶、「愛



葛谷氏は昭和三十三年

月、名古屋電気工業高等学校を卒業。同窓会では学園創立百周年実行委員長、副会長、広報委員長などを務めました。なお平成十二年（十五年、愛知工業大学後援会会長も務めました。

ます」とお礼の言葉を述べ、出席の会員から大きな拍手を送られました。また同後援会の高橋治朗会長からも激励金が贈られました。

後藤理事長は総会の挨拶で「スポーツは小さい時から取り組むことが大切。中学でも卓球に力を入れていくが、選手たちを大きく伸ばしてやりたい」と話していました。主力の木造勇人選手、高見真己選手（いずれも三年）は全日本の合宿に参加中で欠席しました。

選抜大会は三月二十八日、二十九日、島根県で開催され、決勝で青森山田（青森県）を二対一で破りました。決勝は橋本一輝選手（当時一年）、木造選手（同二年）が連勝、勢いに乗りました。後は落としたものの、四番手の高見選手（同二年）が青森山田のエースを破り、優勝を決めました。

選抜は昨年三月に奈良市で開催された大会に続いて二連覇。また、昨年夏に岐阜市で開催された全国中学卓球での優勝をはさみ三連続全国優勝を果たしました。決勝戦の相手はすべて青森山田でした。

### 愛名会総会 山崎氏がプロ野球人生を振り返る

学園の後援組織・名古屋電気学園愛名会の平成二十六年年度総会が五月三十日、名古屋東急ホテルで開催、会員や学園関係者ら約二百九十人が出席しました。

総会では二十五年年度の事業や決算、二十六年年度の事業計画や予算などが報告さ

れました。総会に続いて講演会が開かれ、今春プロ野球選手を引退、現在はスポーツコメンテーターとして活躍している山崎武司氏が「3度のクビから現役27年」と題して一時間話しました。愛工大名電高校からドラフト二位で中日へ入団、引退までのプロ野球人生を振り返りました。山崎氏は十一人の監督に仕えましたが、特に楽天時代の野村克也監督について「素晴らしい方で、野球に対する考え方を変えてくれ、ホームラン王や打点王を取ることでもできました」と語り、その出会いやエピソード、裏話をユーモアを交えて紹介、会員たちは興味深そうに聞き入っていました。

### 名電高校同窓会

#### 新会長に葛谷氏

愛知工業大学名電高等学校同窓会の平成二十六年年度役員総会が五月二十三日、名古屋市内で開催され役員改選の結果、新会長に葛谷捷臣氏（70）が選ばれました。

期は二年。葛谷氏は昭和三十三年

# ピンポン外交の精神再び

## 上海の民間チーム 後藤理事長を訪問

「ピンポン外交の精神で日中関係改善に一役を」と中国・上海の民間卓球チームが来日、5月7日、ピンポン外交の舞台となった愛知県体育館を訪れ、愛知県日中友好協会、愛知県卓球協会の各会長を務める後藤淳理事長と懇談しました。新聞、テレビ各社が取材に訪れ、5月10日付中日新聞の社説でも「新ピンポン外交」のテーマで取り上げられ、注目を集めました。



上海テレビで放映されている日本語テレビ番組のキャスターを務め、卓球の学生チャンピオンの経験もある呉四海氏が「ピンポン外交こそ日中関係の原点」と現地で卓球の腕に覚えがある仲間に呼びかけて、昨年からは来日の準備を進めてきました。来日前日には東京で日本のクラブチームと親善試合も行ってきました。

一行は元国際卓球連盟会長の徐寅生氏を名誉顧問とする十八人。徐氏は米中、日中の関係改善のきっかけとなった第三十一回世界卓球選手権名古屋大会では男子チームのコーチとして来日、これまで後藤理事長とも親交を温めてきました。

一行を出迎えた後藤理事長は、「この愛知県体育館で第三十一回の世界卓球選手権が開かれました。三年前

▲ピンポン外交の舞台、愛知県体育館で元国際卓球連盟会長の徐寅生氏、夫人の陳麗汶さんと握手する後藤理事長

にはピンポン外交四十周年ということでも往年の選手にも来ていただきました。卓球を通して長い間交流を続け、お互いに年を取りましたが、元気でまたお会いできうれしく思っております」と挨拶しました。徐さんも「スポーツを通じて今後も日中の交流を積極的に進めていきたい」と答えていました。

一行はこの後、淳和記念



淳和記念館メモリアルギャラリーでは後藤理事長の案内でピンポン外交関連資料を見学しました

館メモリアルギャラリーへも足を運び、展示されているピンポン外交関連資料を見学、特に一九七一年のアジア・アフリカ卓球（友好）選手権大会の珍しいパノラマ写真は注目を集めていました。

## 「大学評価基準に適合」 本学へ認定証届く

大学が昨年度受審した公益財団法人・日本高等教育評価機構が行う、大学機関別認証評価の評価報告書が認定証とともに届きました。報告書では「評価の結果、愛知工業大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する」との判定でした。

総評として、「総じて、学部・学科などの構成、教員組織、教育環境及び学生支援体制が適切に整備され、安定した財務・経営基盤を有している。また、研究施設が整備され、大学・大学院の学生に対し貴重な研究の場を提供しているとともに、共同研究、委託研究により地域貢献にも寄与している」とされました。

また「優れた点」として、「社会の要請に応え、国際的にも評価される大学づくりのため、『教育研究活性化推進プロジェクト』を発足させて、組織的に運営していること」、「みらい工房や、総合技術研究所の下の耐震実験センター、地域防災研究センター、エコ電力研究センターなどの附属施設がよく整備され、有効に活用されていること」の2点が特記されました。



「本評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する」との認定証